

内野中コミュニティ・スクール通信

令和8年6月25日 新潟市立内野中学校 No.1

○コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクール（以下CS）と呼びます。保護者・地域・学校が一体となって子どもの成長を支える体制を築き、「これからの変化の激しい社会をたくましく生き抜く力の育成」を目指した「地域とともにある学校づくり」を進める制度です。

○学校運営協議会とは

学校運営協議会では、学校運営の基本方針を保護者・地域・学校が共有し、学校運営や子どもに必要な支援について、肯定的で未来志向の話し合いを行います。子どもの豊かな成長のためにそれぞれが主体的に取り組み、協議体として組織的に活動に参画します。

○第1回学校運営協議会開催（5月27日）



運営会議の様子



授業参観の様子（5限）

○学校運営協議会 委員紹介

会 長	雲尾 周	新潟大学教職大学院教授（元PTA会長）
副会長	玉木 浩	元中学校長、元中央区教育支援センター指導主事
	青柳 和洋	内野中学校区青少年育成協議会会長、内野中学校後援会長（元PTA会長）
	長谷川 真也	内野中学校元PTA会長
	本間 佐知恵	内野中学校PTA会長
	松岡 大蔵	内野小学校PTA会長
	木南 和也	西内野小学校PTA会長
	山岸 則子	西内野コミュニティ協議会
	本間 謙一	内野中学校校長

○事務局

教 頭	野邊勝一郎（CS担当）	CS事務員	山田 恵子
教 頭	出口 雅也（地域連携担当）	CS事務員	藤巻 豊美
教務主任	小出 達也		

○協議会内容

▶ 授業参観

各クラスをまわり、5限の授業を参観しました。

▶ 協議

ア 今年度の教育ビジョンについて

ビジョンの概要について以下に示します。昨年度、第4回学校運営協議会にて「学校運営の基本方針」は承認済みです。

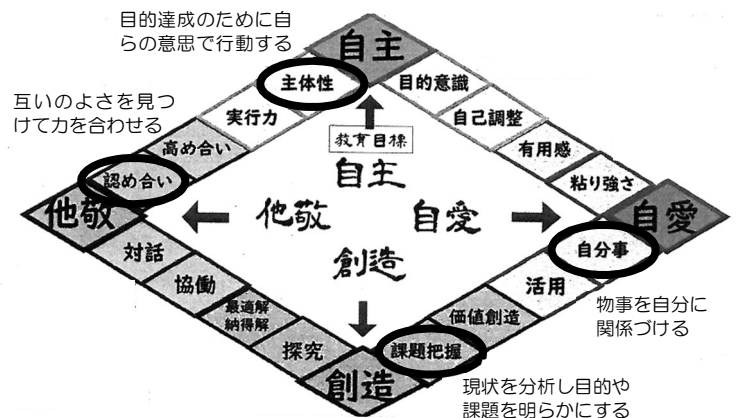
教育目標	自主 他敬 自愛 創造
目指す生徒像	幸せな未来（ウェルビーイング）を創る生徒
育成重点	主体性 認め合い 課題把握 自分事

イ 地域と学校パートナーシップ事業について

地域や大学とのネットワークを大切に、多様な方々にできるだけ学校に来ていただき、一緒に活動することで、生徒たちを支援してもらえよう、学校活動を進めていきたい。また、生徒たちが新たな価値を創出できるように、地域とともにつながっていききたい。

ウ 学校運営協議会の年間計画について

- 1回目—令和8年 5月27日
- 2回目—令和8年 8月27日
- 3回目—令和8年11月 未定
- 4回目—令和9年 2月18日



本校の教育目標

エ 情報・意見交換

・授業参観について

（委員より）授業前の様子で、みんなで協力して飛翔祭の後片付けをしていました。率先してごみ拾いをする生徒がいて感心しました。

（委員より）タブレットに慣れてきて、問題はないでしょうか？

——使わないときは片づけるように指導しています。

・教育ビジョンについて

（学校より）「よい生活習慣・学習習慣を身につける」「失敗をおそれないオープンマインドの生徒」「よいところを言葉で伝える」ことを大切に取り組んでいます。

（委員より）教育目標と生徒会の目標の連動はできていますか？

——生活ノートを通して、ふり返しを行っています。

・パートナーシップ事業について

（委員より）地域に大人と中学生との接点がなかなかない。中学生の居場所づくりも大事だと思う。

・大規模改修について

（委員より）車いす用トイレの設置など、災害時は避難所になることも想定して改修していただきたい。